

授業科目	人生と哲学				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	NT10410J		
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP1-1			
担当教員	桐原 隆弘							
授業概要	<p>哲学 philosophy は「知恵 (sophia) の愛求 (philos)」を語源とし、人間の知的営みのうち、知的営み (思考) そのものの成り立ちも含めて、自然や人間の本質や存在意義を探求することを目的としています。哲学は大きく「理論哲学」と「実践哲学」に分かれます (事実に関する「存在論」と価値に関する「価値論」の分類もあります)。その中で、人生について語る哲学の一部門に「倫理学」(実践哲学の一部門)があります。本講義ではこの倫理学に触れることを通じて、各自の人生について思索を深めます。倫理学の基本モデル (徳論、功利主義、義務論、討議倫理学) と基本概念 (とりわけ伝統的な「徳」の概念; 知恵、思慮、中庸、信仰、希望、愛) を理解し、そのうえで、社会の中で人はいかに生きるべきか、生きる意味ないし価値 (善、正、正義、自由) をいかに見出すべきか、といった問題について考えていきます。あわせて科学技術時代の倫理についても、生命倫理と情報倫理の観点から若干触れます。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 倫理学の基本モデル (徳論、功利主義、義務論、討議倫理学) について説明できる。 2. 伝統的な「徳」の概念 (知恵、思慮、中庸、信仰、希望、愛) について説明できる。 3. 諸価値 (善、正、正義、自由) について説明できる。 4. 倫理的思考を生かして各自の人生について思索を深める。 							
達成度評価								
評価と評価割合 / 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表 (口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	50	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	50	50					100	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
哲学とりわけ倫理学の基本モデル、基本概念を十分に理解したうえで、生活実践の中で倫理的思考を的確に応用し、その成果をわかりやすく文章表現できる。				哲学とりわけ倫理学の基本モデル、基本概念をおおよそ理解したうえで、生活実践の中で倫理的思考を生かす方法を模索し、その成果をわかりやすく文章表現できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題 (予習・復習)		予習・復習時間 (分)

1	哲学の分類と倫理学 語源、理論哲学／実践哲学、存在論／価値論の区別、哲学の一部門としての倫理学の位置付けについて説明する。	講義・小テスト	該当部分の復習	60
2	倫理学の基本モデル(1. 徳論) アリストテレスの倫理学説を中心に徳論の現代的意義を説明する。	講義・小テスト	該当部分の復習	60
3	倫理学の基本モデル(2. 功利主義) ミルの倫理学説を中心に功利主義の現代的意義を説明する。	講義・小テスト	該当部分の復習	60
4	倫理学の基本モデル(3. 義務論) カントの倫理学説を中心に義務論の現代的意義を説明する。	講義・小テスト	該当部分の復習	60
5	倫理学の基本モデル(4. 討議倫理学) ハーバーマスの倫理学説を中心に討議倫理学の現代的意義を説明する。	講義・小テスト	該当部分の復習	60
6	徳の構造(1. 知恵と思慮) プラトンとアリストテレスの「知性的徳」の相違について説明する。	講義・小テスト	該当部分の復習	60
7	徳の構造(2. 中庸) 中庸の徳、とりわけ勇気と節制について、アリストテレスの学説とその批判的継承を中心に説明する。	講義・小テスト	該当部分の復習	60
8	徳の構造(3. 中庸; つづき) 中庸の徳、とりわけ勇気と節制について、アリストテレスの学説とその批判的継承を中心に説明する。	講義・小テスト	該当部分の復習	60
9	価値論の諸問題(1. 価値とは何か) 価値の主観性と客観性について説明する。	講義・小テスト	該当部分の復習	60
10	価値論の諸問題(2. 信仰、希望、愛) キリスト教の徳概念と古代ギリシアの徳概念との関係について説明する。	講義・小テスト	該当部分の復習	60
11	価値論の諸問題(3. 現代の「価値」論) 伝統的価値論が相対化された時代の「メタ価値」としての正義と自由について説明する。	講義・小テスト	該当部分の復習	60
12	価値論の諸問題(4. 現代の「価値」論; つづき) 善、正、正義の関係について説明する。	講義・小テスト	該当部分の復習	60
13	応用倫理学の諸問題(1. 生命倫理) とくに出生前・着床前遺伝子診断の倫理的問題について説明します。	講義・小テスト	該当部分の復習	60
14	応用倫理学の諸問題(2. 情報倫理) とくに生命関連情報の取り扱いについて説明します。	講義・小テスト	該当部分の復習	60
15	まとめ 講義内容全体を振り返って基本事項の確認を行う。	講義・小テスト	該当部分の復習	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				

22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	まずは各自の「人生」に真摯に向き合しましょう。そして生きる意味や価値尺度について自分なりに考えを巡らせましょう。			
テキスト	マティアス・ルッツ=パツハマン著、桐原隆弘訳、『倫理学基礎講座』、晃洋書房、2018年			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業中に適宜紹介します。また授業中に参考資料を配布します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	哲学や倫理について書かれた書物やインターネットの記事などを読み、理解を深めましょう。			
達成度評価に関するコメント	試験(テキスト、配布資料、自筆ノート持ち込み可)の内容については授業の中で指示します。			

